

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、富士市の「我が家の災害対策・同報無線」・「不審者情報」・「職員に期待する～こんな職員であってほしい～」について、市民の意識・評価・要望などを把握することを目的とした。

2 調査の内容

「我が家の災害対策・同報無線」・「不審者情報」・「職員に期待する～こんな職員であってほしい～」について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 富士市全域
- (2) 調査対象 富士市在住の満 18 歳以上 80 歳未満の男女
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 令和 2 年 6 月 11 日～6 月 30 日
- (7) 調査機関 株式会社トムス

4 回収結果

- (1) 発送数 3,000 人 (100.0%)
- (2) 回収数 1,583 人 (52.8%)
- (3) 有効回収数 1,583 人 (52.8%)

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いて集計した数。

5 地区別回収率

居住地区	発送数(人)	有効回収数(人)	回収率(%)
吉原	121	63	52.1%
伝法	131	75	57.3%
今泉	119	87	73.1%
神戸	48	30	62.5%
広見	139	76	54.7%
青葉台	150	38	25.3%
大淵	142	86	60.6%
富士見台	60	29	48.3%
原田	52	23	44.2%
吉永	69	31	44.9%
吉永北	16	5	31.3%
須津	98	54	55.1%
浮島	9	4	44.4%
元吉原	90	52	57.8%
富士駅北	123	50	40.7%
富士北	117	67	57.3%
富士駅南	165	83	50.3%
田子浦	190	100	52.6%
富士南	265	129	48.7%
岩松	151	85	56.3%
岩松北	134	51	38.1%
鷹岡	185	101	54.6%
丘	190	77	40.5%
天間	91	59	64.8%
富士川	68	43	63.2%
松野	77	49	63.6%
分からない	-	20	-
無回答	-	16	-
合計	3,000	1,583	52.8%

報告書を読む際の注意事項

- 1 比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入している。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- 2 基数となるべき調査数は、n または調査数と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- 3 1つの質問に2つ以上回答できる設問の場合は、百分比の合計が100.0%を超える場合がある。
- 4 分析の軸として用いたライフステージは、次のように分類している。

独身期	18～39歳の未婚者
家族形成期	第一子が未就学児、または40歳未満の夫妻のみ
家族成長前期	第一子が小・中学生
家族成長後期	第一子が高校・大学生 (大学生・短大生・専門学校生・浪人生を含む)
家族成熟期	第一子が学校教育終了
老齢期	60歳以上の人

※ 家族形成期～家族成熟期の子どもがいる人は、いずれも60歳未満の人とした。40代・50代の未婚者、40代・50代の夫妻のみなど、分類されていない層がある。

I 調査の概要

5 この調査は、無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$\varepsilon = 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差
 n : 標本の大きさ
 P : 回答比率

回答者総数（1,583人）を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとすると、母集団（18歳以上の富士市民全体）の回答比率は47.5%～52.5%の間であると推定される。

回答比率	標本誤差
50%	±2.5%
60%または40%	±2.5%
70%または30%	±2.3%
80%または20%	±2.0%
90%または10%	±1.5%